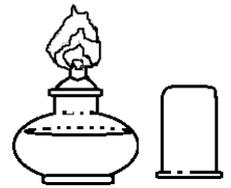


『いいとこさがし と わるいとこさがし』



体育館で、2学期初めての月曜朝会。

6年生のひとことで始まります。

「今6年生は、連合運動会の練習でがんばっています。皆さんも力を合わせて運動会がんばってください。朝のあいさつをします。おはようございます。」

「おはようございまぁす。」

先週の始業式で、桃五の子みんなが、元気に、なかよく、たのしく、すごせるように、一人一人の人が努力しましょうという話をしました。

そこで、今日は『いいとこさがし、わるいとこさがし』という話をします。

さて、今日6年生の代表の人はいつもと違って、「おはようございます」の挨拶の前に、「今、ぼくたちは連合運動会の練習をみんなで力を合わせてしています。皆さんも運動会など、みんなでがんばりましょう。」というお話をしてから挨拶の声をかけてくれました。

これもいいとこさがし、『ぼくたちは今、こんなこと(いいこと)をみんなでがんばっていますよ。皆さんもみんなで一緒にやる「いいこと」を見つけてがんばってください。そんな意味です。それから、6年生はこの、連合運動会でやる「ながなわ跳び」の練習もしています。グラスの人が力を合わせ、心を一つにして、ながなわを少しでも多く跳べるように練習しています。でも、失敗して引っかかってしまう人もいます。するとそこからやり直し。でも、「何やってんだよう。」「下手だなあ」なんて、失敗した人に文句や悪口を言う人はいません。逆に、「いいよ、いいよ。あとひといきだよ。がんばって。さっきよりずっといいよ。」「平気、平気、がんばれがんばれ。」と、励ましています。これがいいとこさがし、プラスことばです。みんなやる気になって元気になれるよね。それに比べて、さっきの「なにやってんだよう。」は、マイナスことば、「わるいとこさがし」です。こんなこと言われたらみんなやる気はなくなるし、元気もなくなるし、一緒に力も合わせられないですよ。

先週の始業式の時に、4年生の女の子が、校長先生の話のあとに代表として話をしてくれました。どんな話が覚えていますか。実はこれもいいとこさがし、いいことさがしの話だったので。

こんな話でした。

私は1学期にがんばったのは、理科のノートをたくさんしっかり書くことです。前は理科で、「予想」も「理由」も「結果」もあまりよくかけなかったけど、先生が友だちのノートの書き方を教えてくれて、くわしくかけてすごいと思いました。それで、その友だちみたいに自分もノートをとれるようになりたいと思い、先生の話や友だちの意見をよく聞いて、以前よりしっかりとノートが書けるようになりました。2学期も先生の話をよく聞き、友達の意見ももっとよく聞きたいです。

というような話だったと思います。

これもいいとこさがしだね。自分がやりたい『いいことさがし』ができて、しっかりと

ノートがとりたい。その時、友達の本の書き方を教えてもらって、話をよく聞いてノートをかこうと思った。

すごい、すごい。これがほんとの『いいとこさがし』です。友だちの本のいいところを見つけて『がんばろう』と、思った。

「何だいこのぐらい、わたしだってこのぐらい書けるよ。」って悪いとこさがし、マイナスことばの気持ちだったら、きっと本がしっかり書けるようにはなれなかったかもしれませんよね。

いいとこ探しはプラスことばの考え。悪いとこ探しはマイナスことばの考え。

みんなが自分のいいとこさがしと友だちのいいとこさがしができたら、きっとすてきな桃五小になるでしょうね。逆に自分や友だちのわるいとこさがしばかりしていたら、マイナスことばだらけのいやな学校になってしまいそうです。

みんないいとこさがしをしながら、力を合わせてよくがんばれるようになってきましたよ。あとひといき……。

お話終わります。

